

### 光環境の測定のレポートについて

今回は、人により出来に差が出ていたように思います。全体的には、説明不足の人が多かったようです。気になる点を下記に挙げておきます。今後、気を付けてレポートを作成してください。

- 1) 図表にはタイトルを忘れずに。
- 2) 今回は、昼光照明の実験ですので、部屋の方位と窓や扉の位置、扉が開いていたか否か、それに実験を行った時刻、は非常に重要な点です。測定結果に大きな影響を与える情報については、忘れずに書き入れましょう。  
全天空照度のグラフでは、測定開始後何秒後の値はいくらか？と考えるよりも、何時何分の全天空照度の値はいくらか？と考える方が良い。
- 3) 生データ（測定値）の提示、それを加工した結果の提示、評価、考察、などのように、できるだけわかりやすく筋道を立てて、レポートを作成しましょう。
- 4) 均斉度は、一般に、値が大きいほど、照度分布にムラが無く良い評価が与えられます。評価指標の読みとり方を間違えないようにしましょう。
- 5) 単位を忘れずに。相変わらず、抜け落ちている人がいます。
- 6) 図や表の見方をできるだけ、言葉で説明しましょう。図や表をいきなり出されても、何のことかわかりません。また、測定値を加工したデータを用いて図表を作る場合には、どのようにして、そのような図表を作ったのかも説明しましょう。
- 7) 図や表は、本文で出てきた、その後に出すようにしましょう。
- 8) どの、どの図や表を見て判断しているのかが、わかりづらい人がいました。きちんと述べておきましょう。
- 9) 器差の調整に関する実験につきも、簡単でもいいですから、書いておきましょう。
- 10) 出典を示す場合は、できればページ数まで。人がすぐにわかるように。
- 11) できるだけ、参考文献などを図書館で調べて、より考察の内容を深めてください。
- 12) やはり基本は、レポートは人が読むものなので、読む人が読みやすくレポートを作成するように心がける、ということだと思います。